



報 同 窓 会 工 会

2004

校 歌

嶺は秀づる磐梯山
水は湛うる猪苗代
これぞ乾坤秀霊の
精気鍾り成る処

明治三十七春なかば
礎堅くきずかれて
星霜ここに幾かえり
平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粋を享け
鶴を徽章に雄々しくも
至誠勤労一すじに
進む健児の意気高し

峙つ嶺は嶮しくも
寄せ来る浪は高くとも
これ奮闘の活舞台
これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校



同窓会長 梅津正夫

『就任の ご挨拶』

今年の夏は全国的に猛暑に包まれ業種によつては例年になく売上げも大変好調だったとか。又一方新潟県、福井県、福島県の一部の地域においては、大変な豪雨による災害に見舞われ大きな被害を受けました。

さて同窓生の諸兄には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。昨年の総会（平成十五年十月十八日）で不肖私が会工同窓会会長に推挙されその重責をお引受けいたしました梅津でございます。私は昭和三十二年三月染織科（現在廃科）を卒業と同時に地元企業に就職三十二年間勤め退社。平成元年に会社を創立し現在に至っております。諸兄のご指導ご協力を賜りながら会発展と母校の為に尽す所存であります。吉田前会長におかれましては、二十五年もの長きにわたり会の発展にご尽力を賜り誠に厚く有難く、会を代表して感謝を申し上げます。特に母校創立八十年、九十周年、そして一昨年の百周年記念事業の実行委員長として指揮

を取られ全て成功に導き頂いたところであります。さて我が国経済はバブル経済崩壊後国内の政治経済とも明るい兆しもなく低迷、新聞紙上に会社の倒産、民事再生法や我々に身近な年金問題等世情の不安を醸し出しております。国際関連では北朝鮮の拉致問題、次いでイラクの恒久平和構築への支援問題等難題が山積みし進展への不透明感と不安に脅かされています。このような状況の中前年比プラスとなる景気回復の兆しもほのかに見えて来たとの事で、同窓生の皆様と共に大いに期待をしたいものであります。私も同窓会は母校の発展を支援すべく百周年記念事業として鶴翔会館（同窓会館）を建設しました。後輩の健全育成と資質の向上に利用され文武両道での後輩の活躍に期待しております。会工健児ぶりを発揮し同窓生の皆さんに興奮と感動を与えて下さい。末筆ではございますが会員諸兄のご健康とご多幸をお祈りしご挨拶いたします。

吉田会長ご勇退

吉田前会長は昭和54年から昨年10月まで25年間にわたって同窓会会長を務め、学校発展に貢献。その間、同校の創立80周年、90周年、そして一昨年の百周年記念事業に手腕を発揮した。

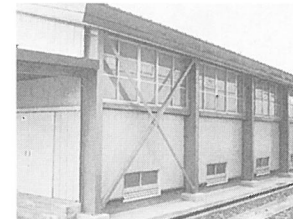
あゆみ

昭和54年10月28日 会津会工総会で吉田新会長選任
昭和55年4月22日 全国理事会により吉田会長に選任
昭和57年5月 前庭ロータリーの造園
11月2日 創立80周年記念式典、校歌碑除幕式
12月9日 会工会館と校歌碑竣工
平成2年8月 同窓会会員名簿発刊
平成4年8月30日 トレーニングセンター竣工
9月30日 会工資料館整備及び修復完了
11月 創立90周年記念式典
11月11日～13日 同窓生の美術展を開催
平成6年3月1日 図録「所蔵作品」「染色型紙」二部出版
3月 松江講堂取り壊し
平成7年9月 同窓会会員名簿発刊
平成14年9月 創立100周年記念講演会
9月 同窓会会員名簿発刊

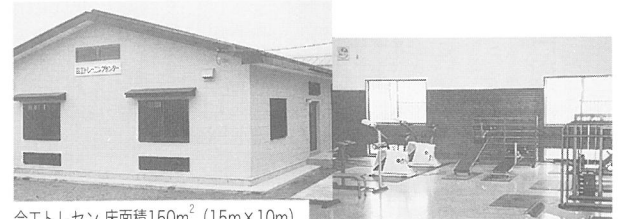
平成14年10月 同窓会館竣工
10月26日 創立100周年記念式典・同窓生美術展開催
12月 モニュメント制作
平成15年3月 陶製吉田会長の胸像寄贈（S33K鈴木寛長氏）
3月18日 創立百周年実行委員会最終打ち合わせ会
10月18日 吉田一栄 同窓会会長を退任し顧問になる
山内清司 副会長を退任し顧問になる
12月24日 鶴翔会館前の門扉、駐車場竣工式
平成16年3月24日 吉田・山内両氏のご勇退を祝う会
10月8日 「会工百年史」の発刊



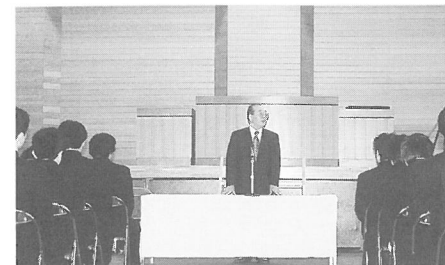
吉田一栄氏会工同窓会会長就任！



昭和54年12月に完成した格技場



会工トレセン 床面積150m² (15m×10m)
トレーニング器具は二りフトブリ他10種。



鶴翔会館地鎮祭



創立百周年記念式典



吉田・山内両氏ご勇退を祝う会



吉田・山内両氏ご勇退を祝う会

吉田会長長い間ごくろうさまでした

あいさつ

吉田一栄

平成15年度末には八巻校長が平工業高校に異動になり、平成16年度は、新入生279名を迎えてスタートといえました。

世界ではテロ、イラク戦争等事件が発生、人類の平和と幸福を願う人々の心に大きな恐怖としてのしかかっている現状であります。この悪循環から少しでも早く脱却できることを切に願っております。



さて、昭和54年10月に会津会工総会を大竹氏より引き継ぎ、さらに昭和55年4月に全国の本部同窓会会長をお受けして以来、25年間続けてこられたのは会員皆様の暖かいご理解とご指導、更に学校側や執行部役員の積極的なご尽力によるものであります。重責を果たすことができました。

在任中を顧みて、思い出は沢山ありますが、創立百周年の諸行事（特に鶴翔会館の建設）が最も感銘深くに残っております。

新会長の梅津正夫氏は若松会工総会会長として種々の要職を務められ、その多才な力量は抜群であり、その多様な力量は、同窓会の更なる発展のため活躍されることを期待いたしますと同時に本会が益々隆盛いたします事を心から念願しております。



創立百周年記念事業 実行委員会からの報告

ようやく「会工百年史」(沿革史)が10月に発刊の運びとなりました。つきましては下記内容をご覧ください。尚、10万円以上高額寄付者には贈呈いたしますのでご了承下さい。

会工百年史

内容

- 第1編 沿革
- 第2編 工業各科の沿革
- 第3編 生徒会の成立と活動
- 第4編 会工を育てた諸団体
- 第5編 会工の現状
- 第6編 資料編

仕様

上製B5版、全1巻、口絵カラー、本文1色
約900ページ、横書き、布製表紙

執筆者（敬称略）

赤城良一（旧職員）、伊藤利博、大山 次、江花光泰、片平 寛、小林憲一、長峯 温、三原敏男、以下会工関係者多数

工業高校として県内最古の歴史を誇る会津工業高校その百年の沿革を詳細に記述した会工百年史は 今回の発刊以外は頒布できません

10月発刊の会工百年史 百年に一度の貴重な機会をお見逃しなく 是非ご購入くださいますようお願い申し上げます。

価 格 1万円

申込先 会工百年史出版事務局
会津工業高等学校 前田宣裕
TEL 0242-27-7456

申込方法

同封の郵便振替用紙に住所氏名卒年科名電話番号を記入の上、1万円をお振込み下さい。

送付方法

宅配便にてお手元にお届けいたします。

記念事業

- | | |
|----------------------|---|
| 1 同窓会館の建設（「鶴翔会館」と命名） | 6 記念グッズの作製
①「校歌・応援歌」CD、及び「会工賛歌」を含むCD |
| 2 学校沿革史「会工百年史」編纂 | ②記念テレホンカード |
| 3 「100周年記念史」の発行 | ③記念湯呑み茶わん、マグカップ |
| 4 「同窓会会員名簿」の発行 | |
| 5 記念歌「会工賛歌」の制作 | |

「出版祝賀会のご案内」

平成16年11月13日（第2土曜日）午後4時

会 場 ホテルニューパレスにて

関係者には後日連絡いたします。

東京会工会

会長 荒井士郎
(昭34 K卒)

東京会工会の活動の一つとして、今年から母校で活躍した学生に対して、ささやかではあるが記念品を贈る事にした。中央に校章を配し、右に「健闘をたたえる、青春の汗を流せ、そしていつまでも青春であれ」、左下に「東京会工会」と紫紺で染め抜いたタオルであるが思い出の一品として心に残せるものと思っている。タオルの中の「そしていつまでも青春であれ」は、学生ばかりでなく我々にも共通する事であり、この精神があれば同窓会にも目を向ける事が出来るのではなからうか。

6月26日上野精養軒に於いて総会が開催された。母校の百周年記念事業は終わったが、東京会工会は7年後に百周年を迎える事になる。故郷を離れた地での同窓会、計り知れない紆余曲折を乗り越えた会を現在私が引き継ぎ運営している。将来後輩に託す事になるが、百周年を迎えるにあたり何を記念とすべきかを考えた結果母校に日本の桜の植樹をする事を提案し賛同を得た。一度に植える事は出来ない



東京会工会名入りタオル製作者 安藤 昭男氏 (昭和35年 T卒)

母校発展協力の一環として、学業、運動に優秀な成績を修めた学生にさらなる奮起の意を込め「東京会工会名入りタオル」を記念として贈らせていただきました。



花爛漫に咲く花を観る事が出来るのは、先人の御陰であり植物にもそれぞれ寿命がある。今、私共が植樹することに依り後世に継ぐ事が出来るのではないかと思っております。

近畿会工会 同窓会活性化に向けて

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

去る6月27日に近畿会工会の総会が開催され、役員改選が行われました。大島前会長はじめ前役員の方々には長い間近畿会工会発展のためにご尽力を頂きました。本当にご苦勞様でした。

新役員一同は、諸先輩が築かれた近畿会工会の伝統を守り、より一層の発展を目指して、努力する所存でありますので、よろしくご協力の程お願いいたします。近年の同窓会活動における課題は①新規入会者の減少と会員の高齢化、②同窓会活動への参加者減少の傾向に對する対策であるうと考えます。



6月27日近畿会工総会

的な活動を展開するため先の総会で大幅な会則の改正を行いました。



あいさつ(手代木副会長)

改正会則では、近畿会工会の目的を「近畿会工会の会員であるとの認識と誇りを基調として、全ての会員が心身共に健やかで、楽しい人生を送るために、会員相互の交流と親睦を図ることを目的とする。」と致しました。

同窓会、特に会津から最遠の方の近畿会工会においては、勤務先の方々と近所の方々ととの交際とは異なり、郷土を同じくし母校を同じくするの同志、お互いに肩の凝らない親しみと和やかな雰囲気のお付き合いとなります。

①学校当局から当該地区会工会方面への就職者の名簿を連絡して頂く②母校の百周年記念寄付者名簿等から未入会在住者を調査し積極的に勧誘活動を実施すること。活動参加者の増加方策としては、近畿会工会の活動そのものが魅力あるものでなければなりません。そのためには役員役職を明確にして活動の活性化を図り、楽しいプランが速やかに実行出来るように致しました。また会員の喜び悲しみを共に分かち合うため、慶弔関係についても充実を致しました。



総会出席者 (株)オプトシステム勤務の会員

東海会工会

会長 佐瀬 一信
(昭26 E卒)

当会、会長名を次の通り御報告申し上げます。

昭和十四年頃は、修学旅行や、生

徒達の就職活動で先生方が束名の節同窓生に召集をかけ、先生を囲み懇談していた。名称は『会工同窓会東海支部』とし会員は六十四名、半数が薬学科卒、初代支部長に小湊新氏 M42 Kが新任した。大戦に依り中断 会員多数戦死した。昭和39年6月7日『東海会工会』結成。

郡山会工会

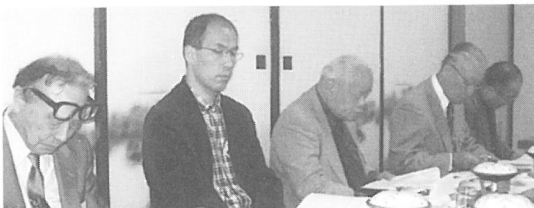
副会長 佐藤 留治
(昭20 M卒)

郡山会工会の総会も、学校長、同窓会長、来賓各位を迎え、終りました。私は年一回の郡山会工会、二年に一回の機械科同級会に参加し、昔を追憶し、酒を酌み交すのが楽しみです。昭和20年学校を卒業してから、59年、亦終戦記念日が始まり、終戦の年に卒業した。百周年記念誌「会工賛歌」の記事を辿りながら、その頃を思い記述します。昭和十六年に入学、戦時体制のため学制帽は被らず戦帽で通学しました。太平洋戦争が始まり、勤労奉仕で二回港村に泊りながら、水田の暗渠排水の作業に従事した事が思い出される。一回



目に行った、湊村の部落では、手伝い先の農家の息子さんに、召集令状がきたので水田の作業を中止して、毎日大隊祝の手伝いで、餅搗をやったり、御客様の接客をして、一緒に白酒を飲み御馳走になった事が忘れられない。昭和一九年戦争が激戦となった頃、通年動員で私達機械科三・四年生は福島製作所に

出動した。戦争砲や迫撃砲を作る工場で、福商生や福女生と共に仕事をしました。短期間の指導を受け、一台のフライス盤をまかせられ、福島商業生と二人一組、二交替制で一人前のフライス工として、戦車砲尾体の製作加工に従事した。仕事は苦にしなかったが、寮生活の食事は、足りなかった。休日にはパン一ヶ買の日に、店先に並び、通勤弁当持の福島生からは、「おにぎり」をもらって食べた事でも思い出す。二十年三月動員終了帰校した。通年動員は卒業前に多くの事を学ばせてくれた現場実習だった。



福島会工会の状況

会長 星 武
(昭27 E卒)

一昨年10月に行われました会工創立100周年記念行事も盛大にそして大変意義深く終了されました。と本当におめでとうございました。これを節目に21世紀に向けて更なるご発展を祈念いたします。福島会工同窓会の同窓生一同、これからの日本を背負っていく後

輩諸君の健全な思想と母校で培った芽が社会に出てから大きく芽生えますよう心より期待をしております。

当会は創立以来43年余を迎えておりますが充足時に比べますと4・5倍となり120名を超えております。毎年1回は定期的に総会を兼ね親睦会および近況報告会を開催しておりますが、時節柄中々全員集合

とはいかず幹事の悩みのひとつであります。会運営の施策についても工夫が不足している面もありますので、このあたりを今後の課題として、母校の発展にいくらかでもお役に立つ事が出来ます様努力し、会員の結束を図り充実して参りたいと思っております。

福島会工同窓会のあゆみ		
年号	元号	行事など
1962	昭37	4月福島会工同窓会発足 (母校60周年記念事業の成功を期して発足) 会員数28名
1963	昭38	職域会工会との連携強化により会員増を計り会則および名簿を作成する 福島市上町万清にて総会を開催 (年1回の総会開催等の承認)
1971	昭46	初代会長栗村市郎氏逝去 二代目会長 星 栄祐氏就任 第24回総会開催 星栄祐氏会長辞任
1986	昭61	三代目会長 星 武氏就任 会員数 120名
1987	昭63	前会長星栄祐氏知事表彰授賞祝賀会 前会長星栄祐氏勲五等瑞宝章叙勲受章祝賀会
1988	平1	副会長 渡辺陽一氏逝去
1999	平11	100周年記念を主眼に総会を開催 同窓会本部より3名参加
2001	平13	100周年記念事業の成功を期して総会を開催 同窓会本部より4名参加 100周年記念行事に関する募金活動 当地区11企業への訪問

初代会長 皆川 明 (S2 K) 昭和43年 会員数140名 昭和55年6月 (総会日) 第2代会長 鈴木 登 (S4 K) 昭和56年6月 (総会日) 第3代会長 川島 巖 (S20 T) 昭和58年6月 (総会日) 第4代会長 岩瀬 博 (S23 T) 平成8年6月 (総会日) 第5代会長 佐瀬 一信 (S26 E) (敬称略) 平成8年 会員数140名 現在に至る 東海会工会会員は愛知、岐阜、三重の、三県内に在住す



る同窓生を以て構成する。

鶴雲雄飛

同窓二万五千

若松会工会

事務局

総会は平成15年10月18日(土) 本部同窓会の同じ期日で行われ、今回は本部同窓会会長と兼務で梅津正夫氏が再任され、副会長には、それぞれの修養会長4名が就任。幹事長には若狭春生氏より小山源昭氏が就任されました。今後は各支部名義を整理し会員拡大、意識を高めて本部同窓会に支援協力する。若松会工会事業報告 (H15・10・18 H16・9・30) 平成15年 10月10日(金) 会計監査(本校科学実験室) 10月15日(水) 総会についての打ち合わせ会 会長、事務局他 10月18日(土) 若松会工会並びに会工同窓会総会開催 午後3時、於ホテルいずみや

坂下会工会

会長 大堀順一 (昭27C卒)

平成16年度の総会は9月1日(水) 奈良屋で18名出席。一年間の反省をしながらお互いに語り合った。大堀支部長のあいさつの後、本部から吉田一榮顧問、梅津会長、学校側から熊田良治校長から本部同窓会・学校側の現状含めご祝辞

をいただきました。尚、前吉田会長に大堀支部長より長い間の本部同窓会会長としての慰労に對して感謝状の贈呈がおこなわれました。



吉田前会長へ感謝状を贈呈

若松ガスグループ 会工会の近況

三星芳喜 (昭47T卒)

我がグループは、技術職が大半を占める為実業校出身が多く、とりわけ会工卒業生が多い。都市ガスの製造部門、設備施設部門、防災部門、建築土木部門に従事している会工卒業生が活躍しております。会工会としての歴史も古く25年統一しており、社内では唯一の同窓会組織として現在も運営されております。卒業生の絆の強さが、誇りで



あります。最盛期の会員数は、百名程度で会工卒業生以外の社員も賛助会員として参加しており賑わいをみせておりましたが、県内にある営業所に転動したりで現在は約60名と少なくなり行事出席率も減っているのが現状です。春の社内総会において、新入社員、部室間の垣根を超えた会話が弾むのも、会工卒という仲間意識が持たらしめるものでしょう。今後も、会員同志の親睦を深めると共に母校の発展に寄与していきたいと考えています。

日曹金属化学(株)会津工場「会工会」の近況報告

鈴木喜代志 (昭40T卒)

日頃より会津工業同窓会には、何かとお世話になり御礼申し上げます。さて、私どもの「日曹会工会」の近況を報告申し上げます。

菱鋼製造会工会の近況報告 小板橋信正 (昭47F卒) 職域の会工会として平成15年10月18日 同窓会総会より、参加させて頂きました。年間の活動としては、4月は、花見 5月、歓迎会 7月、暑気払い 10月、芋煮会 2月、恒例の新年会として、総会も含め泊まりがけで、県外見聞を賑やかに広めています。尚、平成16年8月現在23名の会員で、総会の役員改選(選出)を毎年行います。幹事と会計の両名を順番よく若年に任せ、密接な連絡を保ちながら、煩しく無く互いに協力・援助し、より以上の向上発展と充実感を目指して、推進力となる活動を行っています。簡単に書き述べましたが、これからもよろしく指導の程お願い申し上げます。初めて近況報告とさせていただきます。

REPORT & MESSAGE

三菱伸銅支部便り

斉藤稔大 (昭39C卒)

会津工業高等学校同窓会の皆様には、常日頃より大変お世話になっております。先ず三菱伸銅株式会社の概要から報告させていただきます。皆様ご存知とは思いますが当社は会津工業高等学校(母校のほうがいかな?)から北の方角に位置し、会津若松駅より徒歩3分位の所にあります。

創設は大正14年に第一製氷(株)として創業され、昭和32年に玉川機械金属(株)と改名され更に昭和61年に三菱伸銅株式会社に社名変更され現在に至っております。社員数は関連会社を含めると千

余名ほどですが、三菱伸銅本体の社員数は580名程あります。その中で会津工業高等学校の卒業生で鶴友会を組織して活動していますが現在会員数は125名と実に社員の5人に1人が鶴友会会員で占めており、職場の重要なポストで活躍しております。製造品目は、伸銅品、加工品、蒸着品を製造しており、伸銅品ではパソコン等の半導体用リードフレーム材、車載用の端子コネクタ材を中心に生産しており、品質、量共に世界のランキング上位に位置しております。加工品では、ガス器具接続用フレキシブルホースやパワートランジスタ用異形条を製造しております。また蒸着品では、メタライズドフィルム(MFコンデンサ素材)の先駆者として、日本で初めて製

造を行った実績があり、2層CC-L等多様な製品を製造しています。さて前置きが長くなりましたが、鶴友会の活動について報告致します。本会は、会員の親睦を最優先に活動しております。新入社員の歓迎会や2年おきの旅行を企画し、昨年は多数の参加を得て2回目の北海道旅行を行い、会津では観ることが出来ない北海道の雄大な景観、焼肉やカニの食べ放題など十分満足して帰ってきました。その他に、桜の季節の花見会、一泊での親睦会を兼ねた総会等を行って会員同志の親睦を深めて、会社発展に大きく貢献しております。時々母校の後輩達が工場見学に訪れておりますが、益々多くの後輩が入社されることを期待しております。

次いで暑気払い、芋に会、秋の旅、新年会、そして総会を迎える、といった活動の中身です。会費も、一、五〇〇円/月程度ですので、大々的な活動は出来ませんが、工場内で点在している同窓の仲間が様々な場面で交流を持つことに意義を感じるところです。工場は、磐梯町に位置し、合金、薬品、環境開発の三部門を柱に社します。以上、鶴友会の近況をご報告致します。

東長原事業所とキャボットスーパーメタル(株)会津工場、中央ケミカル(株)東長原工場等の各会社があり、有機化学や無機化学などの化学工業製品と電子材料等の非鉄金属関係の製造を行っており、現在の会工同窓会の会員数は50名で、各社の責任ある職場で昼夜活躍しております。このように三社の企業に勤務している会工会の同窓生で、会工同窓会東長原支部を運営しているものです。各会社より幹事を選出し会長並びに副会長等を決め、会員相互の親睦を図り、情報の交換と自己啓発に努めることを目的に活動を行っております。近況の活動状況をご報告申し上げますと、「会工同窓会東長原支部会則」の規約に則り、毎年4月に総会を開催し、前年度の反省及び今年度の活動内容を決定し、各種活動を行っております。その他の会工同窓会の活動につきましては芋煮会や送別会等で、各社の各職場に点在している同窓生の親睦を深めながら交流会を行っており、会社は違っても東長原地区で働く仲間の交流を持つこと

東京電力猪苗代電力所会工会

渡部栄信 (昭40E卒)

私たちの会工会は、東京電力猪苗代電力所に勤務する、会津工業高校同窓会会員で構成してあります。歴史を坂上ると会則が昭和31年2月制定となっており、48年の歴史が有り、多くの方が入会され、また第二の人生へと停年退職されていきました。現在会員は51名おり、年一回の総会と懇親会で親睦を深めています。親睦会は一泊で実施しており、



東京電力会工会新年会 於東山パークホテル

親子程の年の差を忘れ、夜の更ける迄酒をくみかわし語り合います。最後は決まって校歌を絶唱して締めと

幹事 星 光哉 (S61年卒) 川俣 将仁 (H4年卒) 真壁 博幸 (H12年卒) 副会長 江口 誠 (S44年卒) 渡部 辰雄 (S45年卒) 白岩 哲夫 (S44年卒) 090-8257-5419

昭和電工(株) 東長原会工会

山口栄喜 (昭46E卒)

日頃より会津工業同窓会には何かとお世話になりお礼申し上げます。当東長原支部は磐梯山を間近にした緑豊かな地域環境にある河東町東長原谷地地区にあり、この昭和電工の敷地には、昭和電工(株)

文武両道

至誠勤労

の意義を感じております。
最近、昨今の厳しい情勢から定期採用が行われないため、新たな仲間が増えることがなく、定年退職等で退会される方の減少で、会員数は減少傾向にあります。近い将来、会津工業高等学校の優秀な卒業生を迎えられることを期待しながら、各社の会員とも昼夜仕事に励んでおります。
今後とも更なる母校の発展を祈念いたします。

セラ友会 同窓会の活性化

会長 坂場恒雄
(昭34K卒)

発足から早五周年を迎え今年、市内のホテルいづみやに於て7月17日(土)、一泊二日でセラ友会を開催いたしました。
学校長はじめ同窓会長、来賓の皆様、御出席を賜り総会並びに懇親会が総勢50名余りと共に大いに盛り上がりしました。
発足以来初代会長として坂内茂男氏が総会まで会の発展のためリーダーシップを発揮され会の存在価値を高めたため一歩進み発足にも拘わらず同窓会の中でも一二を争う科、同窓会となっており、特筆すべきは、母校創立百周年記念事業の際に、セラ友会が各部門で指導的役割を果しその名を轟かせたことです。同窓会長の吉田氏(セラ友会顧問)のメンツを立



て大変喜ばれたことです。その様な坂内氏の後を継いで今回私が総会で選任され二代会長に就任いたしました。
私は今後のセラ友会及び本部同窓会の発展のためにどの様にして貢献ができるかと考えてみました。
先ず会津工業高校の場合は普通高校と異なり母校に対する愛校心と感謝がうすいのではないかと感じます。現に各科の同窓会の総会の方が出席者が多いのです。それは先輩後輩の面識もあり且つ職場や職業も類似しており気軽に出席出来るためでないかと思うのです。
セラ友会が発足時には、会費入会員が50名足らずでありましたが、梨子木先生をはじめ役員各位の努力により現在は、150名程になって

建友会 近状報告

会長 手代木利夫
(昭28A卒)

我が建友会は科別同窓会の中でも歴史と伝統のある会であります。建友会は昭和34年に発足して45年を迎えて2月に総会が(毎年2月第4土曜日)に開催しております。

おります。何とか在任中に年15%の会費納入会員の増員に取り組みたいと思います。それが本部同窓会の活性化にもつながっていくのではないかと考えています。
次に同窓会の活性化には母校のクラブ活動等に於て好成績を残し母校の名を高めていくことによりて母校愛をも盛り上げ同窓会の協力活動も期待出来ると思います。

今後の皆様の御活躍に感謝し同窓会として、限りない支援をさせていただき、とを約束し、頑張つて参る所存でございます。



役員研修会(新潟)



研修旅行

今年2月29日東山ホテル東鳳でいつも通り来賓(代護士、市長、商工会議所、PTA、同窓会長、PTA会長、建築科長、設計関係、建設業者の各代表者)賛助会員を迎えて会員共計二百十名の参加の上開催しました。総会は各卒業年度より選出した理事及び八日会実行委員の方々により運営され毎年実施しております。今年役員改選の年であり左記の通り新役員を決定しました。

会長 手代木利夫(再任)
副会長 石原章男(〃)
安西一秀(新任)
小川源昭(再任)
山岸清(〃)
河井博昭(〃)
村野政昭(〃)
佐野則夫(〃)
東條功(〃)
菅原正晴(新任)
川崎昭一

相談役 山内和男 荒川真一 佐久間芳雄
今年の会長方針は会員の和と総会に会員出席者の増強を掲げ又先輩方々の会運営方針を継続し、時代と共に新しい感覚を取り入れて進めて行くことを総会出席者の方々に御協力を御願いをいたしました。又建友会発展のため執行部は努力して行くことを誓いました。
今年の建友会研修旅行は伊豆方面一泊二日の予定で実施します。(6月26日、27日)堂々島温泉ホテル)毎年実施している研修の目的は会員同志の絆を深めて和気合々の上会の運営発展のため努力をしております。又学校においては今年度より建築科が変りいままでは建築科とインテリア科が合併して建築インテリア科となり(平成十六年度入学者より定員40名)今後は建築インテリア科が建友会に入会をして行きますのでよろしく御願います。(平成16年度より)
会員の中で長年総会運営実行委員をされた川清氏(元会津土建K常務取締役)が6月12日に亡くなりました。会のために残念です。深く哀悼の意を表わし故人をしのび報告とします。
最後に建友会が同窓会発展のため協力し会員一同努力していくことを誓って近状報告とします。



建友会総親会

REPORT & MESSAGE

電友会

健康への取組み

会長 栢森幸雄
(昭27E卒)

三つとせ、見たか 知ったか この力 モーターぐらいは手で回す そいつあ 蒙気ダネー このかぞえ唄は、現在の電気科の前身である電気通信科の時代に歌われた若さ溢れる一節です。
【活動報告】

①新規会員の加入呼び掛け
昨年度の百周年事業に協賛された方で本年度に未加入の方へ勧誘をはかる。43名の新会員を迎えることが出来た。
②会員の親睦と健康増進
昨年に引き続き今年も本郷の「向



第九回会工電友会定時総会

羽黒山城と発電所見学へ、ハイキングを行う。○出力2100KW、東星興業(株)○岩崎山山頂(標高408m)で、会津盆地へ磐梯山を眺めながら昼食をとり体力増強と友好の輪を深める。
【総会報告】
本年度の総会は会工祭にあわせ開催したことあつて、多数の参加があつた。
本年は、例年になく会津の在住者にとどまらず、遠く沼津・東京・仙台からも参加され、卒業以来数十年ぶりに会工祭を見学して、総会に出席する。

①「電友会だより」の有効活用
発行回数を年2回とし、会員の交流を深める場とした。是非投稿して下さい。
②役員異動
○山口 健 副会長
○渡部昭寿 理事
【懇親会】
梅津新同窓会長・学校長・同窓会役員のご出席いただき、電友会員との親睦を深めることができた。

新緑の薫る向羽黒山城跡を訪ねて

理事 笠原高雄
(昭27E卒)

会員相互の親睦と体力維持向上をめざし、第2回ハイキングを六

月十日行いました。すでに梅雨に入り天候を心配していましたが絶好の日和りに恵まれました。



向羽黒山城本丸跡

まず、棚木武夫所長(36卒)の案内で昭和32年に運転開始した本郷町唯一の水力発電所を見学しました。この発電所は出力2100KW、東星興業株式会社の水力発電所で導水路は馬越の堰堤より隧道や水道橋をへて長さ約5.8kmあり、放水後は灌漑用水として利用され約931ヘクタールの水田を潤しています。400mくらい離れた所に本郷御所があります。電話回線で新潟県の鹿瀬町にある新下平発電所・新小荒発電所の制御をしていることに驚きました。日本有数の豪雪地帯なので冬期間にトラブルが起これば対応の仕様がなそうです。

制御所をあとにして会津本郷町の最大のシンボルである風光明媚な向羽黒山の散策をしました。この山は中世の会津を支配した輩名家中興の祖といわれた十六代輩名盛氏が、今から443年前あしか

け8年ついやして築いた山城の遺構が数多く残っています。特色として東北地方最大の規模を誇り山全体が要塞化していることです。長い間輩名盛氏の隠居城といわれていたが、地形的に弱点の多い小田山城に比べて黒川(若松)城の話の城として築城したとする説が有力のようです。

山の東側のくろみ坂の遊歩道からわれる御茶屋跡より阿賀川(大川)門田町、市街地を眺め、宗像神社から一曲輪(本丸)に至る急勾配の遊歩道を会長が先頭に一気に登ると先輩は健脚だという声が聞かれました。正午ごろ飯豊連峰、磐梯山、会津盆地を一望できる本丸へ着きました。会津平は南北七里、東西三里の楕円形の盆地ですが、その展望は他に見られない優美さがあります。昼食をすませ町営の「湯陶里」でくつろぎ散会しました。全員で8名の少人数でしたが、有意義な一日でした。来年はもっと多くの方の参加をお願いしたいと思っています。

機友会

会長 平田靖雄
(昭25M卒)



機友会事業報告

平成16年度は7月13日(火)市内米熊にて23名が出席し、行なわれ、15年度の事業報告・会計報告、さらには平成16年度の事業案・予算案と満場一致で承認された。懇親会では本部同窓会長、事務局、母校から学校長、機械科科長のご出席のもと会員の親睦を深めて散会した。

機友会事業報告
平成15年
4月8日 会工入学式
5月8日 三役会(料亭「米熊」)
6月24日 役員会(料亭「米熊」)
7月25日 機友会総会
9月1日 役員会(料亭「米熊」)
10月18日 会工本部同窓会
12月5日 機友会忘年会(料亭「米熊」)
平成16年
1月23日 会工同窓会新年会
2月27日 卒業生(料亭「米熊」)
3月1日 本校卒業式・卒業祝賀会
3月24日 吉田前会長のご勇退を祝う会(割烹「万花楼」)

伝統百年

バドミントン部OB会
会工バドミントン
部の発足

会長 鈴木忠三
(昭26K卒)

同窓会報にバドミントンの事をのせるのは、初めてと思いますが、かつて私達が築き上げたものを後輩達が伝統として守り、毎年すばらしい成績を上げていく事に、感謝と共に大きな喜びを感じております。

会工のバドミントンの歴史は正式には昭和25年、生徒会総会の決定事項として、部の発足が認められ始まったのですが、その前身としては、昭和22年頃より愛好者により、それも、軟式庭球の冬場のトレーニング用として始められたものですが、技術が向上するにつれ、本質的なものから、庭球とは

サッカー部OB会
会工同窓会に寄
せて！

会津支部窓口新田 昭
(昭47E卒)

サッカーと言えば、我々世代約30年前には、バイオレンスでデンジャラスなイメージがあったが、近年、Jリーグ、ワールドカップ日韓共同開催等、日本国内でもメジャースポーツとして拡大している事は言うまでも無い。

吹奏楽委員会OB会
OB会と現状に
ついて

会長 小俣弘行
(昭47T卒)

先ずは、同窓会の皆様方には、日頃より、物心両面から多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます次第です。

会津工業高等学校吹奏楽委員会OB会は、初代卒業生坂内誠志氏をOB会長として昭和50年に発足し、年一回の合同合宿演奏会など音楽活動を通じ積極的な会員相互の親睦及び在校生の支援、協力、交流に努める事を目的として組織され、運営活動をして現在に至っております。

特に、OB会といっても工業学校特有の事であろうと思いますが、毎年卒業するOB達が県外を中心に相当数就職等で会津に居ない為、卒業年度の繋がりが途絶え、所在が不明となる事が悩みであります。

最近では、特に20、30歳代が、厳しい雇用並びに経済状況の中、一番公私共忙しい時期と重なり、参加できないでいるのが現状である様です。

本OB会では、できる限り役員と

野球部OB会

会長 室井勝己
(昭30A卒)

本会の目的は学生野球の主旨に則り、精神的・経済的な援助を計り、健全な発展に寄与することを目指している。

これまでの事業としては、遠征試合に使用するマイクロスコープ購入代金の一部負担、車庫申請のための用地の提供、顧問岡田氏などがおります。毎年行っている事業は、会員の親睦をはかる新年会、七月には総会の開催と夏の選手権前に激励金一五万円、秋には各校事務局のもち回りで行っている。三月には野球部と合同で予餞会と野球部OB会の入会式を開催し、会則と会員名簿の配布、記念品の贈呈等を行っております。

会の運営に必要な会費は、会津に在任しているOBを対象に、職場単位と個人納入とし総会時に集金しています。

バレーボール部OB会
会工バレーボール部
OB会の活動状況

会長 大越一郎
(昭35E卒)

会工バレーボール部OB会は昭和32年2月、故伊藤昭三氏料亭米熊社長）他有志の熱意により創設さ

回（8月15日）、在校生との練習試合、食事会等を行っております。

なお、会工バレー部OB会を運営するために会津地区に在住して参出出来るOBで「二八会」月1

OB会も多様化している社会情勢に適合した組織運営の構築を新たに図る様、自助努力しているところではありますが、ホームページの開設準備を進めておりますので、今後も宜しくご指導賜りたいと存じております。

尚、是非一度、定期演奏会に工業サウンドを聴きにお出で頂き、感動を味わっていただきたいと思います。

今年度の第24回定期演奏会は平

クラス会

昭和26年
工業化学科卒業



平成16年9月22日・23日芦ノ牧大川庄 15名参加 幹事代表 渡部 健彦

昭和31年
電気科卒業



平成16年4月11日～14日 2泊3日 奈良・京都にて 23名参加

昭和27年
機械科卒業



平成16年8月25日～26日東山御宿東鳳にて23名参加 幹事代表 森 喜美

昭和35年度卒業
K35期会

代表 皆川 理
(昭35K卒)



我々の第一回同級会は平成14年8月12日（43年目）、第2回の同級会を平成16年6月6日（45年目）に開催し、翌日なつかしい母校訪問しました。

セラミック科の先生に暖かく迎えて頂き鶴翔会館と校内を案内していただきました。その後、接室で熊田校長先生と学校の近況と我々関係企業の情報等の懇談をおこない会員一同感謝しております。

母校だより

百二年目の会工

教頭 渡辺 秀雄

会津工業高等学校同窓会会員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
同窓会員の皆様には、日頃より、母校に対し熱い思いと期待を寄せていただき心より感謝申し上げます。二年前の百周年記念関係諸事業におきましては、物心両面の心こもる厚いご支援ご指導をいただき無事遂行することができました。心より感謝申し上げます。皆様の心と、ご支援ご協力により完成しました「鶴翔会館」も、皆様の後輩が喜んで利用させていたいただいております。これからも末永く皆様の思いに少しでも近づくよう有効に活用させていただきます。
皆様に大変ご心配ご配慮をいただいております沿革史につ

きましては、同窓会関係の方々を中心とした編纂委員の努力によりまして完成の運びとなりました。内容についても十分吟味いただき素晴らしいものになりました。同窓会関係の皆様並びに編纂にご協力いただきました多くの方々により感謝申し上げます。
さて、創立百二年目を迎えました会津工業高校は、ものづくりをとおした工業教育を目指して会工一丸となり努力しております。ものづくりのための基礎・基本の習得はじめ進路実現を図るための様々な取り組みを行っています。資格取得・ものづくりをとおした各種大会への参加等を点検化し顕彰する制度（ジュニアマイスター顕彰）へのチャレンジ、各種ロボット大会・二連覇を成し遂げた全国電動カート大会・ものづくりコンテスト・プログラミングコンテスト（パソコン甲子園）等、学習の成果を発揮する機会に多くの生徒が参加し実績をあげています。また運動面においても、文武両道を目指す本校は新体操・ボクシング・陸上・水泳等が全国大会へ参加する等すべての運動部が一生懸命に努力を重ね

実績をあげております。
創立百年を基盤に、創立二百年を目指すことを目指すこの年、創設の工業高校のあり方、地域における工業高校のあり方などを踏まえ、同窓生の皆様の思いに少しでも近づくすばらしい会津工業高等学校の未来に向けた取り組みを行っていききたいと思います。これからの同窓生の皆様の力強く温かいご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。



さらなる充実を目指して

教頭 白井 眞一

今年四月に喜多方高等学校から転動して参りました。非力ではありますがよろしくお願ひいたします。
さて母校は平成十四年十月に創立百周年を迎えました。現在新しい世紀に向け新たな第一歩を力強く歩み始め、大学進学率の年々上昇や就職率100%達成（昨年度）など多様な進路実現に生徒達は頑張っております。また運動部においては全国インターハイ大会に陸上競技部、体操競技部、ボクシング部、水泳部が出場し活躍しておりますし、その他の部も上位大会に向け日々の練習に余念がありません。また文化部等においては、電動カート、エコノカート、ロボット、パソコン甲子園、吹奏楽、演劇等多くの生徒が発表会や大会・

競技会に向けた練習に勤しんで確実に成果を上げておりまして部活動等の活発さは会津一だと自負しております。さらにもものづくり教育の一環としての「高校生ものづくりコンテスト」には6競技のち旋盤加工・電子回路組立・化学分析・木材加工の4競技に参加し十分成果を上げました。
ところで今年度から福島県では各学校の教育方針等を公開して地域や保護者の方々から評価をいただきながら学校を改善し、開かれた魅力的な学校作りを目指すことになりました。その趣旨については文科省の審議会答申において「学校、地域の教育が十分に連携し、相互に補完しあい、生徒の望ましい人間形成を図るべきことが重要であること。保護者がその責任を充分発揮する必要があること。一方学校は、地域の施設を積極的に活用したり、学校教育活動について地域の人々の理解や協力を求めたりするほか、家庭や地域社会の建設的な意見に耳を傾けるなどが必要である。」と述べられております。
本校においても「ものづくり教育」を根幹に据えた上での教育目標「人格の完成・技術技能の修得」及び具体的な今年度の課題「学力の向上・キャリア教育の充実・豊かな心の教育・体育文化の振興」を掲げて保護者、生徒、学校評

議員等につかりした説明責任（アカウンタビリティ）のもと情報を発信し、皆様の意見を聞いた上で年度末に総合的に評価し、さらなる学校作りを目指す考えであります。
ところでそもそも魅力ある学校とは、生徒が学校へ行くことが楽しいという学校、具体的には生徒一人ひとりが充実した学習や生活ができ自己実現が図られている学校と捉えることができ、またその学校作りとは、何か新しい施設や設備などを導入して作り上げるものではなく、基本的には現在ある学校の人的、物的諸条件を生かしながら教職員の創意工夫等による実践によって作り上げていくものだと考えます。その意味から工業技術の進展による高度情報化社会の難しい状況の中、将来を見据えた会工のしかるべき教育のビジョンをつかり持った上で校長の指導のもと、質の高い授業の実践や特色ある教育課程の編成及び施設・設備の検討さらには外部機関や企業との連携などに経営的視点で取り組むべきでと考えております。何卒母校発展のためなお一層のご提言やご支援のほどよろしくお願ひいたします。最後に同窓会の益々のご発展と皆様方のご健康をお祈り申し上げます。

The Present Conditon

生徒指導部から

生徒指導部主任 稲生 義則

同窓会の皆様方には日頃より後輩のため、物心両面にわたり、ご支援を賜りありがとうございます。
本校教育理念の一つの文武両道は現代っ子からはなかなか耳にする事ができなくなりました。日本の教育は寺子屋で文武両道に励み、心身を共に健全なものとすべくスタートしたはずでした。
本校も多くの著名人、アスリート、芸術家の方々が排出してきました。
最近の子供たちは、一つの事しか考えられず多面から様々な考え方もなくなり、自己中心的な考え方が増殖してまいりました。頭を育てればすべてを支配できるという様な一面的な考え方が先進的で、人との触れ合い、友情、人情、義理、先輩と後輩の人間関係、人への思いやりなどどこか行ってしまう

進路指導室から

進路指導部主任 山野 敏

今年初めて進路を担当することになり、連日四苦八苦である。そうは言っても生徒の進路実現に向け、気持ちだけは焦っている。
今の若者の働く意識が薄れてきている。親のすねをかじりまわったく働こうという意志を持たないニートと呼ばれる若者、一定の職に就かないフリーターと呼ばれる若者が増えてきている。卒業した方が、築いてきた経済大国日本の存在が今あやぶまれている。今年、保護者の方への情報と



して「ビジネス・フオーム代表取締役古川悠一 郎様」「彌満和プレシジョン総務部長二瓶敏夫様」を招いて、社会人としての心構えを親から子供に対して話す、良い題材を提供して頂いた。また、生徒へは、「太郎庵代表取締役役目黒智郎様」から、企業の理念を話していただいた。いずれも、地元で頑張っておられる方の話と言うことで真剣に聞いている。
3年生にはビジネスマナー講習会を会津ベンチャー協働機構の協

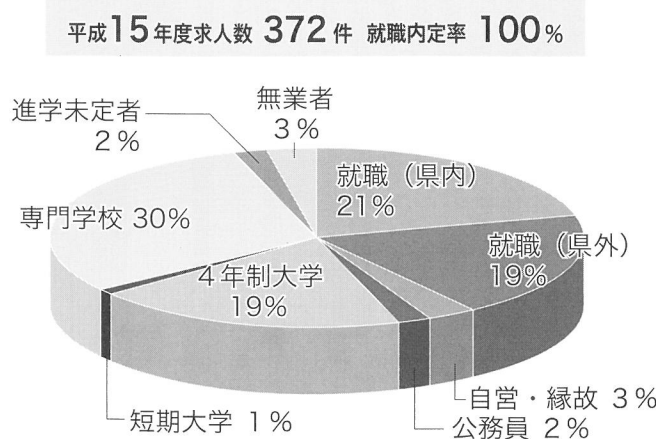
力で行った。
地元企業で働いておられる方の話を直接聞くことは、保護者・生徒にとつて得る物があつたと思う。また、学校も地域と連携した「開かれた学校づくり」の第一歩である。この様に、会工生徒の進路実現には、学校だけでなく、多くの方の御尽力を必要としている。
さて、今年の本校への求人数数（事業社数）は、会津管内104件、県内31件、県外380件、総合計515件である。就職を希望する生徒数が多くなっている。9月16日高卒者の採用試験が解禁される。全員、希望する企業に、内定することを祈るばかりである。

図書館から

図書部主任 白井 まや

図書館がある本館四階からは、東に磐梯山、西に飯豊山がよく見えます。鶴ヶ城の天守閣も、桜や松の間から見え隠れしています。見晴らしは良いのですが、学習ゼンターとしてはあまり適切な位置ではありません。ですが、それでも昼休み、放課後、多くの生徒が来てくれます。この夏休みにはクラー工事も行われ、二学期から使用し始めました。

平成15年度進路状況



平成16年度進路希望状況

平成16年9月10日現在

	ク	ラ	ス	In	F	C	M ₁	M ₂	E	J	A	計
就 職	会	津		6	14	10	15	12	9	9	2	77
	県	内		1	1	1			2		1	6
	県	外		3	7	7	6	6	13	5	6	53
	公	務	員	2	2	6	2	3	4		5	24
	家	事	手	1			1					2
	計			13	24	24	24	21	28	14	14	162
進 学	未	定		5				1			3	9
	専	門	学	13	11	9	7	8	2	7	7	64
	短	大		3	1			1		1	1	7
	四	大		4	3	6	9	9	10	16	14	71
	計			20	15	15	16	18	12	24	22	142
合 計				38	39	39	40	40	40	38	39	313

古い本を開くと、図書カードに様々な卒業生の名前が書かれています。先輩方が読んだ跡が残っています。懐かしい貴重な足跡ですが、今はプライバシー云々にもなります。そこで、公共図書館の多くではカードは使わず、コンピュータで蔵書管理をしています。本校でも、昨年度コンピュータ化に踏み切りました。貸出・返却がバーコードででき、検索もマウスで、統計もすぐ出て来ます。大変素晴らしいシステムです。会津地区の高校では初めての導入となりました。
作業は十二月から始め三月までに、閲覧室にある一六五〇冊を入力しました。今思っても、短期間でよく成し得たと思う仕事ですが、多くの先生、生徒に協力頂いた成果です。四月からスムーズに運営し、活用しているところです。今年度は、書庫にある一六〇〇

鶴翔会館の利用状況と課題

鶴翔会館管理運営委員会

冊余りを入力し始めました。システム導入は県費で行いましたが、現在使用しているカウンターのパソコンは一五年度会工祭のパソコンから、検索用は十五年度卒業生卒業記念品として頂きました。蔵書管理は何か二台のパソコンで間に合っていますが、実習の調べものや課題研究等でインターネットを使うことはできません。教室に一台ずつ入ってはいませんが、図書館にも是非備えたいところです。平成十三年度に改築し、見違えるような明るいきれいな図書館になりました。システムも変わり、生徒にとっても利用しやすくなりましたが、これからより充実した図書館にしたいと思っています。

職員配置も時代によって変化し、大先輩方の時代には司書もいなかったのでしょうか。現在は七代めの平田司書が勤めています。昨年度からは司書教諭も置かれるようになりました。本校の生徒の利用は授業や昼休みに多く、放課後はあまりありません。貸出も他校より少ないです。部活動があるからか、文芸書等にはあまり興味がないのか、理由は色々でしょう。生徒の興味関心も多岐に渡り、本離れ、読書嫌いの傾向も増加している昨今ですが、学習の場としては勿論、生徒達の心のオアシスとして、利用しやすい図書館を目指しています。

各部鶴翔会館使用状況

部	宿泊日数	延利用人数
ボクシング部	14	160
バスケット部	3	94
野球部	1	102
剣道部	5	60
サッカー部	1	18
バドミントン部	4	60
陸上部	3	120
箏曲同好会	3	16
その他	4	167
合計	38	797

鶴翔会館の利用状況については、平成16年4月より、8月までの利用状況をまとめてみました。以上が利用状況です。

使用料は生徒一人200円で冷暖房料100円になっており、あわせて1日300円です。

平成15年度の管理状況は、電気料金、水道料金、ガス料金等を合計すると、年間約65万円支出されており、生徒利用料を差し引くと、平成15年度の年間経費が約45万円になっています。これらの経費は今日までは同窓会よりの補助金でまかなっていますが、この年間経費をどのようにするかが今後の課題である。

また管理運営にあたっては修理・営繕などを考えて行く必要性が出てくると思う。

鶴翔会館 使用要領

- 【目的】
この要領は、鶴翔会館（以下会館という）運営規定第六条に基づき、使用の際の要領を定めることを目的とする。
- 【申込方法】
第二条
使用に際しては、会館使用願書を使用日の三日前までに会館管理運営委員会（以下管理運営委員会）に提出する。
- 【使用料】
第三条
会館の使用料については、次のとおりとする。
①生徒が学習活動のために使用する場合は無料とする。
- ②合宿、研修等で生徒が宿泊を伴って使用する場合は、更に生徒一人当たり一泊につき二〇〇円とする。ただし、冷暖房を使用する場合は、更に生徒一人当たり一日につき一〇〇円を徴収する。
- ③他校生徒の場合も同様とする。
- ④宿泊を伴って使用する場合、光熱費は使用量に応じて実費徴収する。
- ⑤同窓会及びPTAの使用については、無料とする。ただし、冷暖房を使用する場合は、一室につき一回、一〇〇円を徴収する。
- ⑥本校関係以外の団体の使用については、一回につき一室一〇〇円を徴収する。ただし、冷暖房を使用する場合は、一室につき一回、一〇〇円を徴収する。
- ⑦使用後は清掃、ゴミの始末等を行い、使用前の状態に復帰すること。
- ⑧使用責任者は火気・戸締まり等の点検を行い、使用記録簿に必要事項を記入し、記録簿を添えて管理運営委員会に報告する。
- 【使用上の注意】
第五条
使用期間中に使用者の責任で施設・設備・備品の破損・紛失等の損害が生じた場合は、使用者が弁済の義務を負う。
- ①使用する際の鍵の受け取り及び返却は、使用責任者が管理運営委員会との間で行う。
- ②許可された施設・設備・備品のみの使用とする。
- ③各室に備え付けの備品等は、他に移動しない。
- ④火気の使用については注意し、ストーブ、電熱器具等の持込は禁止する。
- ⑤合宿の際の寝具類は、使用者が全て用意する。
- ⑥調理用の器具、什具などは使用者が用意する。
- ⑦近隣に配慮し特に夜間には静粛にする。
- ⑧合宿中に、使用責任者の許可なく部外者が館内に立ち入ることは禁止する。
- ⑨使用後は清掃、ゴミの始末等を行い、使用前の状態に復帰すること。
- ⑩使用責任者は火気・戸締まり等の点検を行い、使用記録簿に必要事項を記入し、記録簿を添えて管理運営委員会に報告する。
- 付則
この要領は、平成十四年十二月一日より適用する。

The Present Condition

三学年 就職試験開始へ

三学年主任 高橋徳朗

例年のごとく今年も七月に入り、三年生就職希望者22名の活動がはじまりました。

前年より求人企業の早い出足に支えられ、生徒は真剣に求人票を検討し、それぞれ希望する企業を選んでいるところです。そして会社が決まれば職場見学へと出発です。本校では以前より夏休みに希望会社の職場を見学することが実

二学年 快調二学年

二学年主任 内藤陸朗

会工第二世紀の歩みと合わせてスタートした第2学年。昨年に引き続き快調な歩みを続けています。

まずは日常の学習・生活がしっかりしていることです。欠席・遅刻が圧倒的に少なく、学習面でも成績良好です。一学期の成績会議でも、心配される深刻な状況はありませんでした。基本がしっかりしている証拠でしょう。「校内漢字テスト」というのが二十数年行われてきています。年に6回実施されるのですが、例えば第2回では、学年全体の平均点が約90点という驚異的な高さです。中でも3クラスは平均95点以上、トップは99点です。史上最高の成績です。「たかが漢字テスト」と

施されています。それは一般的に新規高卒者の離職率が高いと問題にされていますが、本校卒者は一般平均の3分の1という低さになっている要因と考えて、実施しているものです。

今年はいよいよ不況脱出に向うとの予測もありますが、高校生の就職活動は年々厳しさを増しています。それでも本校は多くの同窓生の支援・活躍によって比較的求人企業数も多く、恵まれた現状に感謝しているところです。

9月中旬からの就職試験では、全員合格（内定）することを祈っている近況です。

言うなれ。目標に向って、クラス全体でとり組んで、立派な成果を挙げるといふ、その姿勢こそが素晴らしいと思うのです。

次に部活動での活躍です。二年生ながら、陸上、ボクシング、新体操、水泳で全国大会に出場するという快挙を打ち立てています。その他の部活でも2年生が部の中心になり、秋の新人戦での活躍が大いに期待されるようです。部活動への参加率の高さが根底にあるのでしょう。

修学旅行という大きなイベントを境に、学校生活を振り返り、いよいよ進路確定に向けて気持ちを締め直しているところだ。

一学年 第一学年より

一学年主任 佐藤 緑

新学年がスタートして5ヶ月あまり。今年は8クラスから7クラスへ減、科名変更による建築イン

れます。その最大のものは、講習会への出席率が低いことです。担当の先生からテキストと講習用のプリントを受け取ると、それで合格できるものと安心してしまっているか、最初の日に顔出すだけの生徒が多数見られます。二日目以降の講習会は、閑散として寂しい極みです。そして、その当然の結果として、合格率が低くなっています。

一昨年度分では、県内の最高合格率と比較してみますと、例えば、「電気工事士二種」では、郡山北工がトップで八一・一パーセントですが、本校は、三二・五パーセントに止まっています。（県工業高校教頭会調べ）

そこで、本委員会は、各教科が担当する資格試験等の実施日や場所、受験料、主催者、難易度等を一覧表にした「資格試験実施計画」を作成し、各教室に掲示しました。生徒諸君が、これを活用

することによって、部活動との調整を図りながら資格取得に取り組めるのではないかと期待しているところです。いずれにしろ、いろいろと工夫を凝らし、講習会への出席率を高め、合格率を高め、学習意欲を引き出したものと考えております。

指定の技能・技術検定、資格などを取得した場合や各種コンテストなどに入選した場合にその都度点数を与え30点を越えた場合は「ジュニアマイスターシルバ」、45点を越えた場合は「ジュニアマイスターゴールド」の称号が与えられます。（点数の合計は、年度によって変更になる場合があります）

また該当となる技能・技術検定、資格等は97検定、競技会・発表会等は49大会あります（平成15年度



テリア科の誕生と、会津工業高校の新たな変革期を迎える学年となった。

現代の子の生徒達にとっては広く古めかしい建物、設備、面白い工業実習、部活動など多くが魅力的で、好奇心のなかでのスタートであったようである。彼らの好奇心を満たすだけの学校としての深みが、まさに100年の伝統であろう。緑あふれてここで教壇に立つ我々一学年担任一同、まさに身の引き締まる思いである。私達が彼らに何を伝えられるかは未知数であるが、多くの人の手を経て伝わってきたものの貴さを感じ取り、新しいものを創り出そうとする『創造の種（たね）』のようなものを渡すことができればと考えている。種がいつか芽になるように、希望をつなぐ学年になればと願っている。

同窓生の皆様には、折あるごとに御指導、御鞭撻、叱咤激励いただければ幸いです。



先輩 寄稿

井口直次郎校長を偲ぶ

(昭13 T卒) 山口 瑞穂
湯川会工工会会長

昭和13年3月31日付で私は神戸税関に「雇」を拝命して勤務しました。卒業して初めて生家を離れて身寄も知人もない、全く未知の地に暮

人生を考える時

(昭25 A卒) 伊東 正
若松会工会

昭和25年春、建築科を卒業した私は、支那事変、大東亜戦争、終戦と、動乱の時期を過ごして来た。然しそれからS40年50年と、変動の時期を経て経済の大成長を経験して全盛期を味わって来た。そしてこの不景気である。

戊辰戦争編の別話との出会い

(昭30 E卒) 中村伊佐夫
東海会工会副会長

過日、三重県桑名市に住む義兄(妻の兄)との盃の席上、会津鶴ヶ城藩主松平容保と桑名藩主松平定敬(さだあき)兄弟の話になり、通り一辺の歴史観しかなかった小生にとって大変肩身の狭い思いでした。

継続は力なり

(昭35 K卒) 須藤 博
白河市在住

昭和35年、社会人となり白河に住むようになって高校時代果たせなかった国体出場をめざしたが練習する場所も相手もなく練習環境が皆無

「食」と「日本文化」

(昭50 K卒) 宗像利浩
会津本郷町

「テーブルマナーの講習会」というと、一般的にフォークとナイフを使った洋式の食事のマナーのことが言われますが、日本の食文化を考えた時、主食である米を箸で食べるというあたりまえのマナーを教える教育が、きちんとなされてこなかった気がいたします。

私は、大学の講義の中で、学生に和食器と洋食器の違いを訊ねると、殆んど生徒が洋食器は白い皿型で薄くて軽いものと答えます。しかし、薄くて軽い磁器は、なにも西洋だけでなく有田焼の柿右衛門に代表されるように日本でも

同窓生の一人として

(昭56 A卒) 佐藤 満
現PTA会長

24年前、会津工業高等学校建築科を卒業し、今もなお、建築関係の業界にいる事ができま

先輩 寄稿

六五聯隊に入営をして、終戦■軍務に勤務してゐました。終戦後は井口校長先生の自宅に何回も泊ったりしてお世話になりました。

井口校長は「何時も会津は第二の故郷で懐しいところだと言っていました。」私には生涯京都の此の家に俺があるかぎり来てくれと言っておりまして大きな醤油工場が自宅と隣りあって珍しいと思って私は見せてもらった事もあります。

年月は過ぎても、井口校長先生とお奥様からいただいた御厚情は老年になって更に思慕する想いが御座ります。

今回は「思ひ出で」と題して、井口校長先生とお奥様を偲ぶペンを執りました。

私も人生振り返るとその機会を与えられて波に乗ることが出来たからだ感謝している。皆々も後輩も、必ず人生に一度だけのチャンスがあることを、しっかりと見極めて時期をうかがって生きて行くことだと思ふ。

この時節何しても不景気味だが、この後には、辛抱よく良識に恥じない行動をとれば何かしら良い方向に向かつて行くような気がしてならない。

の娘に生まれ、育ちのよき器量も皆に好かれて、縁あって薩摩人と結婚することになるが婚礼の夜にふと戊辰の戦で亡くなった父そして二人の兄又祖父母と目にうかび続いて多くの人々の悲惨な姿が見えてきて何故敵方であつた人へ嫁がねばと自問自答し部屋を出て何処へ行くともあてのない荒野のただ中へ。以上の様なあらすじですが勝った敗けたの裏では、いつの世も泣くのは老人女性そして子供と変わりなく歴史は繰り返しています。小生にとつてどつぷりと、つかった読書タイムでした。

になつても継続した中でいつしか夢を描くようになりその夢を現実のものとするべく目標をたて昨日より今日、今日より明日への信念のもと、一貫してシャトルを愛しつづけて人生60年が過ぎた。この間夢を描くことが大切さ、その夢の実現にむけて努力することが更に大切なことであることを学んだ。まさに継続は力となり

時の重さのバランスにおける持ちざわりの良さなど、触覚によつて料理も見ただけではなく感じ、味わいもさらに深まり、栄養の吸収力アップにつながるものと思います。ちなみに、ヨーロッパの椅子社会においても椅子に座る時は背筋をきちんと伸ばした躰がなされていたと云われております。

今、日本文化を食の面から考えた時、器を手にとって、口に当て、箸で食べるという触覚を大事にする文化があるのは、世界に於いて日本だけではないかと思われま

会津には、やきものがあり、箸を作る上で欠かせない漆器があり、酒・味噌・醤油等の発酵食品が産地として確立しております。今こそ、食を通しての日本文化の見直しが必要であると思ひます。

そんな私にも、4人の子供がおり、長男と二男が私と同じ会津工業の建築科に入学し、一人は、今年3月に無事卒業する事ができ、二男は、まだ在学中ではありますが、何よりも、自分の考えで、質実剛健を重んじる会津工業を選んでくれた事をうれしく思いますし、今できる事は、何も恐れる事なく、いろんな経験をしてみたいと思つています。

今、会津工業のPTA会長として、学校に来る事も多く、我が子だけでなく、多くの会工生に接する事がありますが、自分達の時代よりも素直で、やる気のある子供達が多く、同窓生の一人として、頼もしい限りです。これから同窓生の一人として、少しでも、母校のために出来る事は協力していきたいと思つています。

後輩たちへ

(平2 M卒) 渡部 修
福島会工会

3年生の就職活動がそろそろ始まるうとするこの時期になると、2年生の進路選択の参考にといいことも兼ねて、我が北芝電機にもいくつかの高校生の工場見学があります。今年も電気科会工生40名と主任の根本先生他二名の先生の来訪に際し、OBとして案内役の依頼がありました。

1年ぶりに後輩たちの元気な顔や挨拶に接しましたが、同じ学び舎で学んだということ、なんとなく気持ちをはっとさせられるものを感じるの、私だけではないと思います。

このような後輩たちに何かの参考にしてもらえればという気持ちで一筆とりました。

現在世の中(企業)では、合理化・生産性向上など、企業が生き残るための様々な施策や改革が行われています。これらは、やむを得ずと利益のみを優先し、人と人との繋がりやコミュニケーションなどを気遣うにしていることは否めません。

このような厳しい時代背景の下ですが、会工生の皆さんには常に主体性を持って行動してほしいと思います。周囲との関係や成り行きに任せるのではなく、その場の状況に応じて自らの知識と行動で、己の存在を確認しながら対処していくことにより、より確かな人間関係が構築できるものと信じています。

会工には、その学ぶべき「人」も「場所」も「もの」も揃っています。今、この時、この瞬間を大切に、青春を謳歌しながら悔いのない高校生活を送ってほしいと思うのであります。

入会にあたって

(平15 F卒) 秋山 貴之

会津工業高校前生徒会長の秋山です。私たち平成15年度卒業した生徒は2月27日に本部同窓

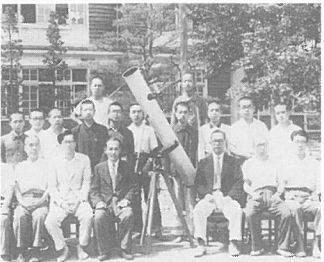
会に入会しました。その際に記念品をいただきましたことを嬉しく思います。未永く使わせて頂きます。

入会したからには同窓会の活動があるときには積極的に参加したいと思ひます。まだ右も左もわからない状態なので先輩方の後についていくことしかできませんが、温かく見守って下さい。

卒業後、それぞれ進路は違うにしろ何かしらの壁にぶつかる事があると思ひます。その時は同窓会の先輩方に相談したいと思つています。

道に逸れそうなる者には道しるべに、明闇に迷い込んだときには希望の光になつていただけたら、社会に出て堂々と恐れることなく自分の足で歩いていけると思ひます。今後ともご指導よろしく願ひします。

今年度寄贈された作品



さくら
20号

昭和15年応用化学科卒
小川 彰一

反射望遠鏡

(昭和24年7月完成)

昭和26年機械科卒
太田 重紀



この2点は鶴翔会館2Fに
展示保管してあります

今年度受賞・活躍された方

瑞宝双光章

宗像 精

昭和26年L科卒
会津若松市



元会津若松市教育長

瑞宝小綬章

佐竹重男

昭和27年C科卒
会津若松市



県立高校の校長を歴任

単光旭日章

伊藤 正

昭和25年A科卒
会津若松市



会津地方の木工後継者育成に尽力

泰洲流

詩吟詠奏洲会会長

浅沼定雄

昭和33年K科卒
愛知県刈谷市



福島県体育協会スポーツ功労賞

須藤 博

昭和35年K科卒
福島県バドミントン協会会長



本郷焼の魅力全国にアピール

佐竹幹夫

昭和23年K科卒
白鳳堂 富三窯



会津本郷焼事業協同組合理事長

報 告

山内稔夫 (昭16年C卒) 平成15年1月
山口喜市 (昭26年E卒) 平成15年10月28日
木田栄八 (昭18年M卒) 平成16年1月5日
吉川恵三 (昭28年E卒) 平成16年3月8日
郡山会工 新田 正 (昭26年A卒) 平成16年6月11日
東海会工 水野正雄 (昭25年K卒) 平成16年10月7日
東京会工 山浦徳春 (昭6年C卒) 平成15年9月1日
一重亜男 (昭33年K卒) 平成16年3月8日
ここに謹んでご冥福をお祈り致します

創立記念

講演会

最大のピンチは最高のチャンス

前会津若松市教育長

宗 像

精

(昭二十六年漆工科卒)

今年は会工2世紀目を歩み始めて2年目となる。4月15日の創立記念日の4日後の19日、恒例の「創立記念講話」が催された。毎年、主にOBの方をお招きしてお話を伺ってきたが、今年は漆工科OBで、平成11年10月まで2期8年間、会津若松市の教育長を務められた宗像精先生をお迎えした。

猪苗代の自宅から列車通学で会工へ6年間通ったという、皆が驚くような話(ちやうど新制高校への切り替え時期で、旧制3年、新制3年で計6年通われたという)から始まって、昭和、電工長原、工場で臨時職工として働いて、非番の時、村の小学校の家庭でキヤッチボールをしていたら、校長

に声をかけられ臨時免許状で教壇に立ち、その後約40年間の教員生活であったという。4つの通信教育を7年間でやりとげ、正式の教員資格をとり、「こんなオレでいいのかな」と常に思いつつ、やる以上は「私にしかできない教育をやる」というチャレンジ精神で教育にとりくんでこられた。

現代はもっといい世の中になっってはいくなくてはならないのに現状は、子供に「ああ、すまない」と言うしかない状況になっって、「袋小路になった社会状況だ」という認識を示された。食足りて礼節を「忘れる」現状である。そこで宗像先生が中心になっって作ったのが、巷で有名な「あいづっこ宣言」である。「あいづっこ」の「こ」とは子供ではなく「そこに住む人」という思いを込めている。子供だけではなく、広く会津に住む人々に呼びかける意味があるのだそうだ。基本は儒教モラルである。「仁」「義」「礼」「智」「信」の五常という五つの常識のうち、子ども

平和の覇者を育みぬ。校歌から

学び舎 ロケーション①専門過程は、いま。

In インテリア科 インテリア科前・廊下の近況報告

主任 小関 栄助

インテリア科教室前で部活の生徒が練習をしている。雨天の時は特に多い。これは今年始まったことではない。30年前テニス部が冬になると南三



棟の廊下で練習が始まる。「一、二、三、...」との号令は一人の声しかきこえない。廊下に出て驚き、わずかの人数かと思いきや、20数名がラケットの素振りややっている。この頃のテニス部は強かった。まもなく、雑談が多くなり練習に緊張感がなくなり、会津地区で優勝すること



C 化学工学科 化学工学科の方向性

主任 松下 俊彦

夏休みに入っってすぐ、中学生の体験入学があった。今年「21世紀は化学の時代」を強調した。20世紀の負の遺産である環境問題を解決し改善していくのは、とりもなおさず化学技術の役割である。化学や環境に興味・関心のある中学生に、化学工学科で一緒に学ぼうと呼びかけた。

最近、あらためて新しい時代の工業化学教育の在り方を検討しているが、ここでは、いつも理解されにくい化学工

F セラミック科

主任 伊藤 健

今年度、同窓会最大の問題は、吉田一榮会長の勇退でしょう。多くの方々が翻意を迫ったのですが辞意の意志が大変強く、成功しませんでした。結果的に、会長の勇退を承認する事になりました。

この結果を踏まえて、同窓会では後任の会長人選に、ついで何度か会議を持ち、慎重

に審議した結果、満場一致で梅津正夫氏に決定しました。推薦された梅津氏も、この非常事態を、会津工業高校・同窓会、浮沈の問題として捉え、その責任を痛感しているように思いました。

我々、同窓会会員は新会長梅津正夫氏にしっかりと、ついで、会長が仕事しやすいように補佐していきたいと思っています。顧問吉田一榮氏、本当に長い期間ご苦勞様でした。同窓会一同、感謝の一語に尽きると思います。新会長梅津正夫氏、同窓会のこれからの先導役よろしく願っています。

セラミックス科卒業を条件とする大学も次第に増えつつあります。これもセラミックスという新しい素材が最先端の技術に非常に大事であるという認識が定着している結果だ



を始めて人々の心から消えようとしているのが「仁」であり、「義」であるとのこと。「仁」は他者に対する思いやりの心であるが、高学歴社会の過当競争の中で死語と化してしまっている。欲望は動かし、今後は人を欲望で動かすもので、完了するといことがない。欲望はそれに打ち勝つ実感があつて満足するものである。欲望は禁欲によって征服される、というお話であった。「義」は人の道のことであるが、これも法治国家として法に義を委ねてしまつて、人が自分の心の中で悪をただすということが疎かになつてしまつていのが現状である。憂うべき姿である。「仁」と「義」は、数々の社会的モラルを人の心のうちに水のごとく湛えらる器だ。その器を作つていかねばならないと説かれた。儒教の見直しなどという反動だと言われそうだが、決して反動ではない。かつての事象に学んでこそ、新しい事象を解決できるのだ。「温故知新」である。

M

機械科

■主任 佐竹 勝行

この春の人事異動により、永年本校の教育発展の為に尽力なされた笠井英雄先生がご退職なされました。また湯田恒弥先生が教頭として郡山萌世高校へ、川口芳彦先生と高橋浩二先生が喜多方工業高校へそれぞれ転勤なされました。後任として以前本校に在職していましたが鹿目稔先生、白岩孝一先生、鶴巣幸江先生が喜多方工業から、新しく大竹典和先生が機械科の教員に加わりました。又、1年2組の担任として理科・篠原宏和先生、2年2組担任数学科・渋谷由紀子先生、2組に社会科の大塚久泰先生、3年2組に数学科の佐野正司先生の4名の先生方の応援も含めて総勢17名で頑張っております。

機械実習室には昨年引き続き、旋盤が1台更新され新しい旋盤が合計7台並びました。残り1台を更新すると生徒全員が新しい旋盤で実習を行うことが出来るようになります。

ところで、この不況の中、進路指導は大変ですが、平成15年度の機械科の場合はそれなりの良い結果を得ることが出来ました。これもひとえに諸先輩方のご尽力の賜と深く感謝いたしております。平



成15年度機械科卒業生80名の進路の結果は以下の通りです。就職者35名(県内19名、県外16名)、進学者43名(四大20名、短大1名、専門学校22名、未定2名)となっております。昨年の進学者数46名と大体同じ数になっております。このことは世の中の進学率向上の傾向と共に、昨年同様不況のため就職厳しいということでもありあえて進学でもしていただくというこの両面が考えられます。さて、機械科の生徒の活躍ぶりを報告致します。(平成15年度分)

- 全国工業高等学校校長協会 ジュニアマイスター顕彰シルバー：3名
- 三年間皆勤：17名
- 会工祭クラス対抗ロボット競技大会：優勝
- ※各種資格取得に対して熱心に取り組んでいる機械科の生徒の姿が思い浮かびます。機械研修部関係(平成15年度分)
- ものづくり(旋盤部門)大

A

建築科

■主任 渡部 鉄仁

平成16年度は、新たに二瓶賢一先生と山野辺幸喜先生の2人が転入されて新学期がスタートしました。建築科では6月に3年生を対象に宮大工である本校の卒業生を講師にお招きして、社会人としての心構えについて御講話をいただき、また7月の3日間、2

K

建築インテリア科

■主任 渡部 鉄仁

今年度より、建築科とインテリア科が募集停止となり、新たに建築インテリア科が誕生しました。準備委員会の会議で科章も「K」と決定し、本館の1階に教室を設置しました。授業のカリキュラムの内容は、校内でのコース制を

採用し、普通教科については全員が受講し専門教科においては、入学事前のアンケートの調査をもとに、希望する建築コースとインテリアコースに別れて各々に学習をしているところです。会津地区では、建築やインテリアデザイン関係の勉強ができる高校は本校しかないというところもあり、毎年夏休み中に実施される体験入学で中学生の人気も



会予選福島県大会参加

- 全国アイデアロボット大会 予選福島県大会：2台出場
- 全国電動カート高校選手権大会：3台出場、2部門で優勝・総合優勝
- ホンダエコパワー燃費競技全国大会：3台出場
- スターリングエンジンテクノラリー全国大会：3台出場予定

いづれの大会においても機械研修部は素晴らしい成績を残しております。土曜、日曜、夏休みを返上して、毎日夜遅くまで大会に勝てるロボット・勝てる車の製作に当たっている生徒諸君と指導に当たっている先生方には只々感心するばかりです。更に素晴らしい成績を得るために努力いたしますが、今後とも先輩各位のご協力の程をお願いいたします。最後に全ての事に對し懸命に頑張っている機械科職員を紹介致します。

佐竹勝行、鹿目稔、白岩孝一、平山賢美、岩沢巖、丹治一記、吉田孝男、大竹典和、佐藤信仁、岩田善一、栗田克志、鶴巣幸江、今野真です。

・基本情報技術者試験(十五年十月)二名合格・パソコン甲子園(プログラミング部門)全国五位・実用数学技能検定準一級一名合格・ヒアリング英語検定一級一名合格

年生を対象に福島県建設業協会と会津技能センターの御支援をいただき、クラスの大半の生徒がインターシップを体験いたしました。ほとんどの生徒が「貴重な体験ができた。」「今後の進路決定に役立てていきたい。」との感想を持ち大変、好評でした。8月には、「福島県高校生ものづくりコンテスト2004」が郡山北工業高校を会場に行われ、3年生の代表3名が夏休みを返上して練習に励み、意気揚々参加いたしました。2時間半の制限時間の中で木材加工(フロッター作成)競技に臨み、全員が個々の作品



急上昇となっています。本年度の入学学生は、男子17名・女子23名の計40名です。皆、驚くほど元気があり、仲良く充実した高校生活を送っている姿が見受けられます。将来の建築士やインテリアコーディネーターを目標に、勉強にも部活動にも、誠心誠意、精一杯に頑張ってくれんことを心より祈願いたします。

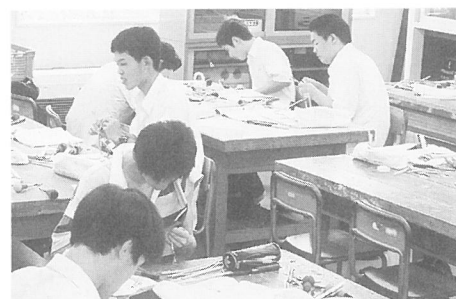
E

電気科

■主任 梅宮 昭雄

今年度の電気科一年生は入学の取りやめが二名あり三十八名の新生でした。このような始のつまづきがありましたが、その後は順調に学習活動、部活動を行っていきます。そして、担任は体育の鈴木聖也先生が担当持ち前の明るさで生徒をグイグイと引っばっています。今年の電気工士の学科試験は昨年より多く合格し、夏休み前から二、三年生の生徒

三十一名が技能試験に向け練習を重ね試験に臨みました。今はその結果待ちになっています。さらに現在では第一種電気工事の資格取得をめざし三年生の生徒が補習を含め勉強し始めたところ。十月三日の試験に多くの合格者が出ることを望みます。また同時に三年生にとって進路決定の大事な時期で志望会社もおおむね決まり、就職試験に向け頑張っているところです。二年生は九月二十九日から三泊四日の沖縄方面への修学旅行に向け班分け、自主研修など事前準備をしているところです。今年から福島県の工業高校はものづくりコンテストが実



J

情報技術科

「コンピュータ制御」と「プログラミング」の力を育成する学科として

■主任 本田 毅

今年度も3年生の進路活動が開始され、すでに多くの生徒が内定通知を手に入れている時期になっています。これも先輩諸氏のご援助・ご協力の賜であり、厚く御礼申し上げます。さて、情報技術科が本校に設置されてスタートしたのは平成元年4月でしたから、今



年はそれから16年目となっています。この間、情報技術のめざましい発展があり、たえず学習内容の検討を行いながら進んでまいりました。工業高校における学習です。情報処理の分野を主とするのではなく、コンピュータによる制御や計測、そしてそれらを実

現するためのプログラミングなどに力を入れてまいりました。最近では、ネットワーク対応の制御・計測装置を導入したり、Visual Basic・NETやJavaの学習も取り入れております。従いまして、電気・電子の基礎学習とその実習も取り入れて、学科の目標を達成すべく努力している所です。以上により、卒業生の進路としては、

- ①コンピュータによる制御の分野
- ②コンピュータのシステムエンジニアの分野
- ③プログラミングの分野
- ④電気・電子を用いるハードウェア技術や製造部門

まだ歴史の浅い学科ですが、時代のニーズに応じた力を育

奮るるや会工の健男児

学び舎 ロケーション②

クラブ活動は、いま。

生徒会

■顧問 加藤 善範

『祝 全国大会出場』(陸上競技部、ボクシング部、体操部、水泳部) 校門を通り校舎を見上げる。こんな垂れ幕が見られる。今年も各々が厳しい県大会、東北大会を突破し全国高校総体に出場しました。また、地区大会でも多くの種目で優秀な成績を残し、今後も活躍が期待できます。さて、本年度の生徒会活動ですが、新たな取り組みが試みられました。その一つが、『第一回会津地区生徒会長サミット』です。会津地区内の生徒会長が一堂に会し、諸問題について議論を交わすものです。この場では、自ら考え、対外的に発言する力が問われます。

発表。さらにそれに対して反論をする。生徒が協力しながら考え、熱弁を振るっていました。白熱した議論は生徒の希望により予定の時間を一時間延長する程でした。この様な生徒の積極的な姿を見てると百余年の歴史と伝統を誇る会工の教育の中で次代を担う若者が確実に育まれているのを実感します。本校の生徒会が活発な活動を続けられるのもひとえに皆様のお陰かと存じます。今後とも会工の後輩たちを温かい目で見守っていただきたいと思います。



部活動・同好会

運動部/陸上競技部、新体操部、スキー部、水泳部、柔道部、バスケットボール部、テニス部、ソフトテニス部、バレーボール部、バドミントン部、卓球部、野球部、剣道部、サッカー部、山岳部、弓道部、空手部、ボクシング部、自転車競技部

●女子バレーボール部、バドミントン部、卓球部、弓道部、ソフトテニス部などで活躍しています。

文化部/美術部、音楽部(吹奏楽部)、英会話部、演劇部、自然科学部、社会部、計算技術部、アマチュア無線部、写真部

同好会/釣り、生活科学、JRC、箏曲、ゴルフ、コンピュータ

吹奏楽部

顧問◎鈴木 陽子

同窓会の皆様には、日ごろより吹奏楽部へのご支援を賜り、誠にありがとうございます。
さて本年度吹奏楽部は7月に行われました吹奏楽コンクールに出場致しましたが、実力を出し切れず県大会出場を果たすことができませんでした。部員は大変悔しがって涙を流す者もありましたが、数日後には練習内容を見直し、新たな気持ちで取り組み始めたのでこの様な結果で良かった。



第23回 福島県立会津工業高等学校吹奏楽部定期演奏会

演劇部

今年も…

顧問◎平野美起子

「盲目であるが故の座頭市感」……。春の発表会は、タイトルからしても興味をそえられるものであった。台本には、嫁と姑の戦いがリアルに描かれていた。姑との同居を快諾した模範的な嫁が、ある日、ついに姑の厳しさに怒りを爆発させる。勤めから帰った息子が目にしたものは…？

「あなた、きょうの夕食はビーフシチューよ。たくさん食べてね。」に秘められたパトルの結末。

深刻なテーマは重厚な劇に仕上がらず、顧問として会工の演劇の復活の兆しを感じることができた。

サッカー部

恒例のサッカー部OB戦
顧問◎鈴木 哲
岩田 善一
佐野 正司

今年も去る8月15日に、恒例となったサッカー部OBと現役選手との交流試合が行われた。前日から雨が降り始め実施が心配されたものの、朝にはやんでひと安心。グラウンドも良好で、気温もそれほど高くない最高のコンディションであった。

朝早くから部員たちが試合会場をつつた。やがて、試合開始時刻が近づいてつれてOBの方々が大勢駆けつけてくれた。中には、家族連れの方もいた。次第に、にぎやかなり、なつかしげな会話の声で沸き立った。

いよいよ試合開始。初戦は、目下のところ選手権大会に勝ち残っている現役トップチームとの対戦。お互い息詰まる攻防が見られるほど、和やかな中にも緊張感のある試合となった。結果は2対0で現役



チームの勝利。しかし、結果以上に先輩方の見せてくれたプレーがとても参考になったと選手たちは振り返っていた。その後、1年生チームとの試合もあり、全部で4試合ほど行われた。

試合終了後に、記念の集合写真を撮影し、OBの方々が暖かい励ましも頂いた。毎年このOB戦がシーズン後半に向けての節目となっている。その都度、物心両面で援助を頂き大変有難く感じている。また、卒業してから

クラブガイド

しかし……。前日の衣装合わせでそのくぐはぐさに息を飲むと、わずかに座頭市を連想させる殺人シーンをメインとする喜劇仕立てのものであることがわかった。

エンターテイメントを追求する姿勢は今年も殺人鬼を登場させ、観客を沸かせた。楽しくリズムカルに跳びはね、踊ったバトルシーンを含め、すべてが生き生きと美しく、若者の思いが漲っていた、と思う。

ただ、しばらく賞から遠のいてる現実もあり、方向転換も考える時期かもしれない。



剣道部

顧問◎馬場 勇作
丹治 一記

僕達剣道部は、3年生の引退後、2年生5名、1年生6名の計11名で活動している。

ソフトテニス部

顧問◎星野 恭代
谷内 豊

後輩と繋がりを持てることを、現役選手たちが何よりも嬉しく感じているのではないだろうか。

今後OBの皆様のご支援を励みに会工サッカー部発展のために微力ながら顧問一同力を合わせ選手らと歩んでいきたい。

新体操部

顧問◎鈴木 聖也
二瓶 賢一

今年度、体操界でもっとも注目を浴びたのは「アテネ五輪体操男子団体優勝」である。

「体操ニッポン復活」の名のもとに、幼い頃から強化・育成された選手達が、各種目のスペシャリストとして活躍し「金メダル」を手にした。

現在の体操界はジュニア育成に力を注いでいる。現にアテネ五輪選手の富田洋之選手は8歳、また鹿島文博選手にいたっては3歳から英才教育を受け日本代表選手として活躍している。我、会工男子新体操部は、ジュニア上からの選手もいるが、半数が高校から始めた素人選手ばかりである。しかし、素人選手もジュニアから活躍している選手に引けを取らない活躍を見せ、東北大会・全国大会選手として活躍し成績を残してくれている。3年生が抜け現在の部員3名。素人からでも充分活躍することが出来る我部にも多くの生徒が入部し、早く人員不足を解消したいところである。

テニス部

顧問◎海老沢康広
加藤 善範
穴澤 節子

我が会工ソフトテニス部は、新主将白井裕之をはじめとして二十四名で鶴ヶ城テニスコートで日々練習に励んでいる。女子部員も六名、個人戦での県大会出場を果たすなど成果を上げてきた。会津地区一位、また県大会での上位進出を目標とし、谷内豊先生の専門的な指導のもと、チームワーク重視の部になるよう一球一瞬を大切にしている。

学校にコートがないため、例年鶴ヶ城のテニスコートや総合運動公園、会津ドームなどを有料で利用しているが、部員が例年になく多いため最近では総合運動公園が主な活動場所となっている。鶴ヶ城のテニスコート以外は学校からかなり離れた場所にあり不便な状況ではあるが、部員は毎日まじめに活動している。

空手部

顧問◎清水 裕二
高橋 弘光

昨年、部員数6名のほぼ全員がレギュラーという小さな部だったが、今年は1年生の入部数も多く、活気のある部となった。

それに伴って、毎年行われている夏季強化合宿が5泊6日となり、昨年よりも3日ほど長くなった。全員で乗り切るかどうか心配だったが、最後まで一人の脱落者を出さず、無事に終えることができた。

今年は、インターハイや会津総体などの大会があったが、二大会とも県大会出場という成績だった。

剣道部は、馬場勇作先生、丹治一記先生、OBの方々の指導のもと、日頃の稽古に汗を流している。これから秋の新人戦に向けて、勝つことだけではなく自分から相手の間合いにせめて打つ剣道ができるように、1、2年生が一丸となって、今まで以上に毎日の稽古に力を入れ、頑張っている。

バドミントン部

顧問◎大塚 正幸
渡部 訓生

今年度バドミントン部は、男子18名女子6名でスタートしました。選手それぞれが自分の目標に向かって毎日厳し

い練習をおこなっています。7月におこなわれた県大会では団体戦ではベスト16で敗れてしまったものの、最後の大会のこのままでは終われないと3年生が個人戦で奮起し、佐藤・磯部組が3位入賞、ほかの3年生も強豪選手相手に強気に最後まであきらめずにシャトルを追いかけ会津工業の名に恥じない素晴らしいプレーをしてくれました。

現在は3年生が引退し2年生が中心となり新チームとして男子12名女子2名でスタートしました。部員全員、先輩に負けじと毎日がむしやらずにシャトルを追いかけています。顧問そして部員一丸となって過去の偉大な先輩方が築き上げてきた『強い会津工業』を復活させようと頑張っています。そして、中学校からの経験者はもちろん高校からバドミントンの魅力にとりつか



今年の成績はインターハイ会津地区大会学校対抗3位、ダブルス優勝、会津総体ダブルス優勝、シングルス選手権優勝、新人戦学校対抗3位、ダブルス準優勝などであるが、インターハイ県大会では学校対抗ベスト16、個人戦ではインターハイ県大会、県総体とも1、2回戦敗退であり、昨年に比べて県大会でなかなか勝ち上がれない状況が続いている。

今後は基本をしつかりさせ今度の県新人戦以降では県の上位に入れるように頑張らせてたい。

弓道部

顧問◎黒澤 静子
戸井田睦美
弓道部は、3年生10人(男8女2) 2年生11人(男10女



1) 1年生8人(男8)、日頃から文武両道をモットーに部活動だけでなく、学校生活全般にきちんと取り組み、健全な精神を養っています。平成16年度は、県春季大会男子団体2位を皮切りに、地区大会で順調に入賞、県大会進出を果たしてきました。また女子も久しぶりに団体で大会に参加しました。

普段は40射の行射を基本に、団体・射詰・会持ち・月例会・百射会・練習試合などを取り入れ、技術の向上につとめています。時々団体や大学で活躍しているOBが道場に顔を出し、射を見せ、指導してくれるのも良い刺激となっているようです。

次は新人戦地区大会2連覇、県大会優勝、全国大会出場を目指し、これからも頑張って活動していきたいと思



会工同窓会役員

平成16年4月現在

■本部

顧問 吉田一榮 20 K 会津若松市
山内清司 13 L 会津若松市
会長 梅津正夫 32 T 会津若松市
副会長 手代木利夫 28 A 会津若松市
大島武二 20 C 会津若松市
佐瀬一信 26 E 会津若松市
荒井士郎 34 K 会津若松市
荒井久 18 T 郡山市
星 武 27 E 福島市
佐藤 保 33 C 猪苗代町
大堀順一 27 C 会津坂下町
山口瑞穂 13 T 湯川村
山本幸助 27 T 西会津町
栢森幸雄 27 E 会津若松市
平田靖雄 25 M 会津若松市
坂内茂男 32 K 会津若松市
若狭春生 29 E 会津若松市
小沼孝生 28 E 会津若松市
栗城和夫 41 M 会津若松市
伊藤利博 26 E 会津若松市
齋藤照雄 26 E 会津若松市
伊藤 博 23 M 会津若松市
五十嵐時雄 30 A 会津若松市
加藤公司 36 A 会津若松市
佐藤幹夫 41 G 会津若松市
加藤昭雄 33 T 河東町
小林憲一 31 E 会津若松市
片平 寛 32 M 会津若松市
江花光泰 31 L 北会津村
齋藤四志男 34 K 会津若松市
坂場恒雄 34 K 会津若松市
手代木徳夫 28 E 会津若松市
小山源昭 38 A 会津若松市
五十嵐昭夫 35 A さいたま市
村山幹夫 41 M 名古屋市中区
大竹文夫 31 C 京都府精華町
菊地寿雄 48 D 会津若松市
金田 寛 21 M 郡山市
神田信之 31 M 福島市
長谷川与一 40 E 猪苗代町
猪俣勇一 43 G 会津坂下町
佐野常雄 31 E 湯川村
小島淳一 41 M 西会津町
山岸 清 41 A 会津若松市

監事

江川一正 26 E 会津坂下町
関場一宏 33 K 会津若松市
佐藤信仁 38 M 会津若松市
梨子本傑 41 K 会津坂下町
岩淵浩之 54 L 会津若松市
岩淵浩之 54 L 会津若松市
渡部鉄仁 54 A 会津坂下町
岩淵浩之 54 L 会津若松市
佐藤信仁 38 M 会津若松市
菅原健治 39 A 会津若松市
根本平造 40 C 会津若松市
伊藤 健 41 C 会津坂下町
長崎敏秀 43 G 会津若松市
稲本可文 44 K 北会津村
山野 敏 49 G 会津若松市
前田宣裕 53 E 会津若松市
鶴巢幸江 58 M 河東町
佐藤正道 59 C 会津若松市
渡部訓生 59 E 会津若松市

会計

岩淵浩之 54 L 会津若松市
渡部鉄仁 54 A 会津坂下町
岩淵浩之 54 L 会津若松市
佐藤信仁 38 M 会津若松市
菅原健治 39 A 会津若松市
根本平造 40 C 会津若松市
伊藤 健 41 C 会津坂下町
長崎敏秀 43 G 会津若松市
稲本可文 44 K 北会津村
山野 敏 49 G 会津若松市
前田宣裕 53 E 会津若松市
鶴巢幸江 58 M 河東町
佐藤正道 59 C 会津若松市
渡部訓生 59 E 会津若松市

編集後記

同窓会に関する情報を送りください。できる限り紙面を通して紹介したいと考えております。
事務局の情報収集には限界がありますので、ぜひ、写真等同封のうえ簡単なコメントもそえ、ご連絡いただければ幸いです。
このらんで、たくさん紹介できることが会工同窓会が活性化しているバロメーターです。

梨子本 傑

(平成16年9月30日現在)

各支部役員名

地 区	役 職	名 前	卒 業 年	地 区	役 職	名 前	卒 業 年	地 区	役 職	名 前	卒 業 年
東 京	会 長	荒井 士郎	34 K	郡 山	会 長	荒井 久夫	18 T	建 友 会	副 会 長	小山 源昭	38 A
	副 会 長	岡 島 文弘	29 C		副 会 長	安 藤 留夫	18 M		事 務 局 長	山 岸 清	41 A
	幹 事 長	五十嵐 清昭	33 K		幹 事 長	金 田 寛	21 M		会 監	河 野 政昭	43 A
	幹 事 長	五十嵐 弘義	35 A		幹 事 長	金 田 久夫	18 M		会 監	東 條 正晴	51 A
	幹 事 長	石 賀 勝行	34 T		幹 事 長	安 渡 節夫	16 K	電 友 会	顧 問 長	菅 原 山昭	28 A
	幹 事 長	芳 藤 孝健	38 M		幹 事 長	藤 田 喜伊	32 T		顧 問 長	青 森 幸徳	28 E
	幹 事 長	伊 田 健邦	42 E		幹 事 長	星 祐武	13 T		顧 問 長	手 代 木 之	28 E
	幹 事 長	鈴 木 隆功	40 M	福 島	顧 問 長	星 秀明	18 M		顧 問 長	冠 小 沼 憲	29 E
	幹 事 長	大 佐 功一	31 A		顧 問 長	星 秀明	27 E		顧 問 長	小 渡 林 昭	31 E
	幹 事 長	佐 瀬 一信	39 L		顧 問 長	神 田 信	40 E		顧 問 長	小 渡 明正	34 E
東 海	会 長	小 林 修一	14 C	猪 苗 代	会 長	佐 藤 輝男	31 M		顧 問 長	荒 鈴 木 安	30 E
	副 会 長	佐 々 木 英三	16 M		副 会 長	菅 沼 淳一	33 C		顧 問 長	山 本 一雄	36 E
	副 会 長	服 部 哲夫	23 T		副 会 長	菅 沼 淳一	36 E		顧 問 長	山 口 健	29 E
	副 会 長	水 野 正雄	25 K		副 会 長	江 口 花	37 A		顧 問 長	田 賢 祐	26 E
	副 会 長	酒 井 敏久	29 E		副 会 長	長 谷 川 一	49 G	機 友 会	顧 問 長	伊 藤 靖	25 M
	副 会 長	皆 川 克久	33 T		副 会 長	長 谷 川 一	40 E		顧 問 長	片 平 昭	23 M
	副 会 長	中 村 伊夫	30 E		副 会 長	齋 藤 勲	49 A		顧 問 長	柏 木 昭	32 M
	副 会 長	村 山 幹忠	41 M		副 会 長	磯 川 廣	39 M		顧 問 長	小 池 明	28 M
	副 会 長	笠 岡 英	35 A		副 会 長	古 川 一	48 M		顧 問 長	栗 城 和	29 M
	副 会 長	五十嵐 強	48 M		副 会 長	渡 部 進	17 M		顧 問 長	大 富 士	41 M
	副 会 長	鈴 木 力	31 T		副 会 長	寺 崎 順	22 C		顧 問 長	宮 淳 一	43 M
	副 会 長	安 川 敏	34 M		副 会 長	長 佐 隆	27 C		顧 問 長	竹 秀 明	32 M
近 畿	顧 問 長	大 島 武	20 T	坂 下	顧 問 長	佐 藤 悦	26 A	セ ラ 友 会	顧 問 長	坂 恒 洋	39 M
	顧 問 長	大 渡 部 吉	31 E		顧 問 長	佐 藤 悦	29 A		顧 問 長	水 野 正	34 K
	顧 問 長	荒 井 芳	31 T		顧 問 長	磯 目 昭	32 K		顧 問 長	佐 藤 悦	32 K
	顧 問 長	近 藤 弘	29 C		顧 問 長	猪 俣 勇	43 G		顧 問 長	関 井 宏	33 K
	顧 問 長	大 竹 文	31 C		顧 問 長	甲 斐 威	49 A		顧 問 長	荒 井 士	34 K
	顧 問 長	竹 尚	23 T		顧 問 長	安 藤 信	49 D		顧 問 長	佐 藤 松	33 K
	顧 問 長	黒 谷 雅	26 C		顧 問 長	高 久 昭	35 A		顧 問 長	藤 四 志	34 K
	顧 問 長	若 梅 精	16 T		顧 問 長	山 口 瑞	26 E		顧 問 長	谷 利 彦	41 K
	顧 問 長	津 正 夫	32 T	湯 川	顧 問 長	菅 沼 章	13 T		顧 問 長	山 野 敏	50 K
	顧 問 長	坂 内 茂	32 K		顧 問 長	菅 沼 章	29 C		顧 問 長	板 垣 正	49 C
	顧 問 長	手 代 木 利	28 A	西 会 津	顧 問 長	佐 野 幸	31 E		顧 問 長	若 狭 宏	35 K
	顧 問 長	平 田 雄	25 M		顧 問 長	山 本 龍	27 T		顧 問 長	若 狭 宏	38 K
	顧 問 長	森 幸 重	27 E		顧 問 長	小 柴 一	33 M		顧 問 長	梨 子 傑	41 K
	顧 問 長	竹 重 男	27 C		顧 問 長	小 柴 一	41 E		顧 問 長	吉 田 一	20 K
	顧 問 長	藤 四 志	34 E	建 友 会	顧 問 長	手 代 木 利	28 A		顧 問 長	内 茂	32 K
	顧 問 長	源 平 造	40 C		顧 問 長	石 原 章	33 A		顧 問 長		
	顧 問 長				顧 問 長	安 西 秀	36 A		顧 問 長		